

トルコの後期流動性窓口貸出金利の引き上げについて

4月25日（現地時間）、トルコ中央銀行は、政策金利である1週間物レポ金利は8.00%に、政策金利の上限としている翌日物貸出金利は9.25%に、下限としている翌日物借入金利は7.25%にそれぞれ据え置きました。その一方で、後期流動性窓口貸出金利を0.75%引き上げ、13.50%としました。後期流動性窓口制度は金融機関が資金ショート等の問題を避けるための最終手段として用意されている例外的な制度ですが、昨年1月以降、実質的な金融政策手段として機能しています。

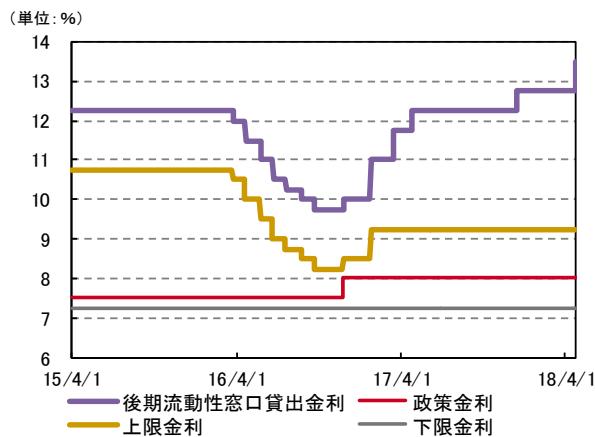
トルコ中央銀行は、トルコリラ安による輸入物価の上昇を通じて足元のインフレ水準およびインフレ予想が高まっている点を考慮し、金融引き締めスタンスの継続を決定しました。合わせて、インフレ予想の改善が見られるまでは、あらゆる必要な措置を取る準備があるとの方針を示しました。声明には特段の言及はなかったものの、インフレ対策、トルコリラ防衛のための措置に加えて、今年6月24日に前倒して実施される大統領選挙、議会選挙の前にトルコリラの安定化を図りたいとのトルコ中央銀行の思惑があると考えられます。

市場の事前予想では、後期流動性窓口貸出金利の0.50%の引き上げが予想されていました。それを上回る引き上げ幅となったことから、トルコリラは利上げ発表直後に対米ドルで一時上昇したものの、その後は値を戻しました。今般の後期流動性窓口貸出金利の引き上げにより、トルコリラは短期的に落ち着きを見せる可能性があります。その後はこれまでと同様に、トルコ国内の政治動向、インフレ動向、および米国の金利動向を見ながらの動きとなることが予想されます。トルコ株式市場に関しては、トルコリラ安や政治的不透明感、投資家のリスク回避姿勢などを背景に2月以降、軟調な動きとなっていますが、それらの要素はバリュエーションを見るとかなり織り込まれていると考えられます。

（各種情報を基に損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが作成）

政策金利の推移

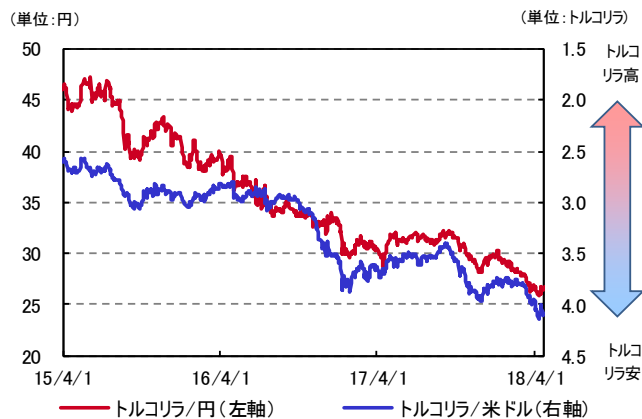
2015/04/01～2018/04/25



出所：Bloomberg

為替レートの推移

2015/04/01～2018/04/25



出所：Bloomberg

株式市場の推移

2015/04/01～2018/04/25



出所：Bloomberg

[投資信託をお申込みに際しての留意事項]

| 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

| 投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

購入時に直接ご負担いただく費用	購入手数料 上限3.78%（税込み）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保金 上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	信託報酬 上限2.052%（税込み）
その他の費用等	上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第351号
 加入協会／一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のご利用にあたっての注意事項

- ◆ 当資料は、損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社により情報提供を目的として作成された資料です。したがって、勧誘を目的としたものではありません。また、法令等にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ 投資信託は、主として値動きのある証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失が生じ、投資元金を割り込むことがあります。
- ◆ 当資料に記載されている各事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果等を保証するものではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。投資信託をお申し込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ずお受け取りの上、詳細をご確認ください。また、お申込みに関する決定は、お客さま自身でご判断下さい。